

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	簿記Ⅱ		(NGB12T)
講義名 (コード)	簿記Ⅱ		(NGB12TX)
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	グローバルビジネスコース	単位数	2
授業担当者	竹内 玲子	時間数	30
成績評価教員	竹内 玲子	講義期間	秋学期
実務者教員	はい	履修区分	必修
実務者教員特記欄	東京コンピューター(株)、東京精電(株)歴任	授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	前期に学習した簿記の基礎知識をふまえて、日商簿記初級・3級検定受験を目標に企業の取引のしくみ、記帳のしくみを学習していきます
全体の内容と概要	テキストに沿って1つ1つの会計処理方法を覚え、模擬問題を練習し検定対策をしていきます
授業時間外の学修	前期の内容のほかに新しい勘定科目や書式、計算問題が出てきます しっかり復習して覚えていきましょう
履修上の注意事項等	検定試験はいつでも受験が出来ますので受験日を考えて学習してってください

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率×0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	合計残高試算表による 前期内容復習と検定問題の理解	合計残高試算表の作成・検定試験の内容説明
2	取引と記帳について理解する	日々の帳簿記入 商品売買（掛け取引について）
3	商品売買の処理について 理解する	商品売買の処理① 仕入返品・売上返品・引取運賃・発送費・前払金・前受金
4	消費税・税金について理解する	商品売買の処理② 消費税ほか税金について
5	現金預金・手形について理解する	手形取引・小切手の扱い、電子記録債権・債務について
6	債権と債務の種類がちがいを知り 処理方法を理解する	その他の債権と債務① 貸付金・借入金・未収入金・未払金
7	債権と債務の種類がちがいを知り 処理方法を理解する	その他の債権と債務② 立替金・預り金・仮払金・仮受金
8	固定資産について理解する	有形固定資産の取得・売却・減価償却
9	純資産（資本）の仕訳を理解する 収益と費用復習	資本金の増加・減少、収益・費用となる勘定科目の確認
10	合計残高試算表の問題の解答法を 理解する	合計残高試算表の作成・問題の解き方
11	検定問題練習により 本試験の問題の形式を理解する	本試験シミュレーション問題 第1回
12	検定問題練習により 本試験の問題の形式を理解する	本試験シミュレーション問題 第2回
13	検定問題練習により 本試験の問題の形式を理解する	本試験シミュレーション問題 第3回
14	まとめと解説	期末テスト
15	まとめと解説	テストFB

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	土日合格（うか）る日商簿記初級〈第2版〉
参考文献・資料等	他テキスト、問題集よりの抜粋プリント
備考	担当教員はパソコンスキル及び簿記の実務経験を活かし、複式簿記のシステムを学ぶ日商簿記初級レベルの知識を授業中に展開する。